

「日中植林・植樹国際連帯事業」北京職業女性代表団

参加者の感想（抜粋）

○今回の訪問を通して多くの成果を得た。新潟県の視察では、農家の皆さんと交流し、山古志の被災地の女性達で運営している農家レストラン多菜田を訪問、また JA 越後ながおか女性部の皆さんのおもてなしを受け、まるで親戚のお宅を訪問しているかのような温かい気持ちになり、とても感動した。

訪日最終日となったが、日本の関係者の皆さんのおかげで、東京都、新潟県、長岡市、千葉県において多くを学び、交流することができた。日本の皆さんに親切に迎えてもらい、友情の素晴らしさを感じることもできた。北京職業女性代表団を代表して、関係者の皆様に心から御礼申し上げたい。

今回の訪問では、環境保護、地震防災、植樹などに関するプログラムから多くを学び、現場視察で環境保護や防災への意識を高めることができた。同時に、日本への理解や認識を深められた。特に団員と共に桜の植樹活動に参加できことは光栄であり、私達は再度、日本を訪れてその成長ぶりを見たいと切に願っている。

「朋有り遠方より来たる、亦た楽しからずや。」中日両国の友好が末永く続くことを祈念している。

○今回の訪問を通して、実際に自分の五感で防災や環境に対する理解を深めることができた。今後の業務においても、この経験を同僚と共有し、社内の環境・防災意識の向上に努めたい。

農業や文化の継承に関しては、中国は更に努力が必要だと感じた。中日両国は農業大国であるが、農業や文化の継承において、日本は非常に工夫がこらされており、食の大切さを教育するのみならず、それに関わる文化もしっかりと根付かせていたのが印象深かった。

○今回の訪問では、有明清掃工場の視察が印象深い。清掃工場担当者によるごみ処理方法の説明の中で、ごみが最後にリサイクル製品になることが興味深かった。

帰国後は、日本が古くからの礼儀を重んじていることを中国の知人に紹介したい。中国にも多くの礼儀があり、海外から「礼儀の国」と称されているものの、若者の礼儀に対する関心は日増しに薄れ、忘れ去られてしまったものも少なくない。

山古志の皆さんに優しく迎えてもらい、日本人の友好的で心のこもったおもてなしを、肌をもって感じた。まるで自分の家に帰ったかのように、心がほんわかと温かくなった。別れの時、ちぎれんばかりに手を振り見送ってくれた姿を見て、目頭が熱くなった。山古志の農家レストラン多菜田で頂いた昼食は、命や日々の大切さを気付かせてくれた。山古志の皆さんにとって、外国からの来客はそれほど多くないだろう。そんな中、大きな災害に見舞われて、それでも命を大切に、共に災害を乗り越えた人々が一種の帰属感を持ち、日々を感謝しながら、一番良い「今日」を生きようとしている姿に、私達は多くを学んだ。

○今回の訪問を通し、私達を受け入れてくれた全ての日本の皆さんに心から感謝する。日本の友人達の誠実さ、温かさ、実直さ、友好の念、そしておもてなしの心を全身で感じた。

北京職業女性代表団の団員として、日本における働く女性の社会的地位や仕事の様子に興味を抱いた。日本の女性は専業主婦が多いという印象があったが、訪問先で出会った女性達、通訳、ガイド、外務省の職員、JA 越後ながおか女性部など、皆さんが家庭を切り盛りしながら、家事と仕事を両立している様子を理解し、皆さんのたくましさ、そして穏やかに生活を送っている様子を知った。

日本は環境が素晴らしく清潔だった。ごみ処理方法がとても先進的で、都内の有明地区ではごみが瞬時に焼却場に送られ処理されていた。また一般市民の環境保護意識も高く、街並みは美しく整

備され、他人を慮る気持ちが感じられた。

そして印象深かったのは、伝統文化の保護と継承である。長きにわたる中国の文化・文明を、外国人は人類の貴重な宝と称しているのに、その中国人自身が忘れ去りつつあることに対し、多くの団員が心を痛めた。帰国後は、中国の文化を再度見直し、それを伝え、人々の資質の向上と社会への貢献ができるよう努力していきたいと思う。

もちろん中国にも素晴らしいところがある。情報技術の進歩は目覚ましく、Wechat や支付宝（アリペイ）などのオンライン決済、自転車シェアリング、オンラインショッピングなどの普及は人々の利便性を高め、エネルギーの節約にも寄与し、人々との繋がりを更に強めている。

中国人と日本人の友好は長い歴史がある。今後もますます友好の絆が深まっていくことを願っている。

○植樹活動を中心に、地震、防災関連の視察は意義深かった。被災地の訪問や被災地の皆さんとの交流で、現地の現状や人々の気持ちが理解でき、皆さんがとてもたくましく、地に足を付けて奮闘している様子がよく分かった。できることなら、私達が植樹した詳細な場所を教えてください。いつかまた必ず再訪したいと願っている。

今回の訪問交流は、かつて日本を観光旅行した時と、全く異なる印象を得た。

1. 日本側スタッフの皆さんの真剣に仕事に打ち込む姿、態度には学ぶところが多かった。私達に随行してくれた日本側スタッフの皆さんは、苦労も厭わず、誠心誠意、私達に接してくれた。また、非常に丁寧な言葉遣いで、日本の礼儀作法や、注意すべきマナーについても説明してくれ、プロ意識の高さに感動した。帰国後、周りの若者や子供たちに是非、話して聞かせたいと思う。
2. 被災地の人々の、明るく前向きで、愛情あふれる態度に非常に感銘を受けた。新潟県の被災地訪問中、現地の方々との交流を通し、生活の現状や復興の様子を知った。政府の支援はあるものの、最も重要なのは地元の人々のやる気と努力であることが分かった。苦労を厭わず、何事にも負けない日本人の粘り強さに心を動かされた。被災地でご年配のボランティアの方が13年にわたり、体験の語り部として仕事を続けており、このことも帰国したら是非、皆に伝えたい。情熱と愛情をもって仕事に当たることが、良い仕事をするために最も大事な要素であると学んだ。
3. 日本の至るところで、面倒を厭わず、完璧を追い求める仕事への積極的な態度を目にした。私達のために用意された訪日活動の冊子、スケジュールは細かく分刻みで予定が立ててあるのに、このタイトなスケジュールをほぼ時間通りに進めていくのには本当に驚いた。こうした冊子は非常に美しく作られており、中国もこうしたことを見習い、さらに発展していかなければならないと肝に銘じた。